

第4回くらす部会会議録

日 時	2018年10月 26日 (金) 13:30～
場 所	播磨町福祉会館キッチンスタジオ
テーマ	1、本日参加メンバー 2、事務局より 3、協議 4、次回開催日の調整
内容	<p>1、参加メンバー：14名</p> <p>2、事務局より</p> <p>○第2回全体研修会について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害平等研修 (DET) 講師：桜美林大学 谷内 孝行氏 東播磨圏域コーディネーター 濱口 直哉氏 <p>○各部会の活動状況報告</p> <p>3、協議</p> <p>集える場作り</p> <p>○キッチンスタジオ視察</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まだあまりキッチンスタジオは使われていない。 はまなすで餃子パーティ(母達だけ)はしたことがある。 ・多動の子が包丁を持つと危ない →ボランティアがいる <p>●車椅子も入れる調理台について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シンクの前には車いすで入れなくなっている。 ・手すりがあることでむしろ前に行きにくい。 ・壁際にあるので前からの介助ができない。 →足腰が弱い人の場合は支えにはなる。 ・ガスに慣れている人はIHの使い方がわかりにくい。 <p>○企画のねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・料理の仕方を知るためか、集まるということを中心にするのか →福祉サービス、学校、家以外で気軽に仲間が集まれる場所 ・サービスを作るのは難しいが、集える場なら作ることが出来る。 ・食事という理由があると集まりやすい、キッチンスタジオもせっかくできたので ・はっきり教室だとか、企画を固めてやるパターン ・もう一つのパターンとして、こういうことができる場があるという使い方の提案、存在の周知 →まず率先して自立支援協議会で企画・実施し、ビデオをとるなどして周知していく？ ・最初は小規模で…(参加した人から意見も聞ける)

○企画内容

- ・おにぎりなどシンプルな方が子どもは分かりやすい。
- 作るときに自分に具を選ばせるような形。
- 自分が作ったものを自分が食べるわけではなく、皆で作る。
- ・料理より話すのがメイン
- おにぎりの日、カレーの日、レトルトカレーの日、ヨーグルトにトッピングだけ…など
- 簡単で本人たちは行きやすい

決定企画

- 対象** 障害のある子どものいる親子 ①中学生以上 ②小学生まで
- 日時** 2019年1月12日(土)①中学生以上 26日(土)小学生まで
- 内容** まずはやってみて様子を見る→ひとつのモデルとして提案していく
簡単なものを作って、しゃべりながら食べる
- ・おにぎり
 - ・デザート(ヨーグルト等)
 - ・即席みそ汁
 - ・飲み物など持ち込みOK
- 参加費** 1人300円(材料費) 就学前200円 2歳以下無料
- 人数** 6組12人前後

サービス利用のしかた

- はたらく部会のように、まずは部会内で福祉サービスに関する勉強会を行う。
- ・次回5五回くらす部会より開始
 - ・講師：福祉グループ 田中さん
 - ・種別ごとに混同しそうなので、障害種別毎にわけると
①身体・知的 ②精神
 - ・勉強会の内容も基に、資源・支援の見える化、マップ化を行っていく。

4、次回開催日の調整

12月19日(水)13:30～ 地域連携交流施設